



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 日本アジア投資株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8518 URL <https://www.jaic-vc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員CEO (氏名) 丸山 俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員CFO (氏名) 岸本 謙司 TEL 03-3221-8518
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	940	222.8	△69	—	△133	—	△14	—
2026年3月期第1四半期	291	△64.6	△159	—	△197	—	△143	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △138百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 50百万円 (△76.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	△0.51	—
2026年3月期第1四半期	△6.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	21,615	10,243	36.9	286.28
2026年3月期	21,024	9,630	35.9	290.88

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 7,980百万円 2026年3月期 7,541百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により、記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

詳細につきましては、12ページ「3. 従来連結基準による四半期連結財務諸表等、（1）従来連結基準によるサマリー情報、2. 2027年3月期の従来連結基準業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）」をご覧ください。

また、「従来連結基準による見込値」の前提となる条件等については、2026年5月15日付の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の22ページ「5. 従来連結基準による連結財務諸表等、（4）従来連結基準による今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 投資事業組合等1ファンド、除外 1社 (社名) 投資事業組合等1ファンド

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	27,955,392株	2026年3月期	26,004,392株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	78,009株	2026年3月期	78,009株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	27,263,691株	2026年3月期1Q	22,206,383株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2026年8月14日に当社ウェブサイトに掲載予定です。

(将来に関する記述等についてのご注意)

「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により、記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

詳細につきましては、12ページ「3. 従来連結基準による四半期連結財務諸表等、(1) 従来連結基準によるサマリー情報、2. 2027年3月期の従来連結基準業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)」をご覧ください。

また、「従来連結基準による見込値」の前提となる条件等については、2026年5月15日付の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の22ページ「5. 従来連結基準による連結財務諸表等、(4) 従来連結基準による今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 営業活動の状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
3. 従来連結基準による四半期連結財務諸表等	
(1) 従来連結基準によるサマリー情報	12
(2) 従来連結基準による経営成績等の概況	14
(3) 従来連結基準による四半期連結財務諸表	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年6月30日)における当社グループの業績等の概要は、営業収益940百万円(前年同期比 222.8%増)、営業総利益357百万円(同 233.6%増)、営業損失69百万円(前年同期 営業損失159百万円)、経常損失133百万円(前年同期 経常損失 197百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失14百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失 143百万円)となりました。

株式の売却が好調だったことから前年同期に比べて大幅な増収となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期末に取得した子会社やプロジェクトのコストが増加したこと等から赤字となったものの赤字幅は大きく縮小しました。その内訳や背景となる営業活動の状況は、次のとおりです。

(a) 営業収益・営業原価内訳

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2025年 4月1日 至 2025年 6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2026年 4月1日 至 2026年 6月30日)	前連結会計年度 (自 2025年 4月1日 至 2026年 3月31日)
営業収益合計	291	940	2,117
うち 管理運営報酬等	44	50	196
うち 営業投資有価証券売却高	6	633	908
うち 組合持分利益・インカムゲイン等	226	239	964
うち その他営業収益	14	18	48

営業原価合計	184	583	1,427
うち 営業投資有価証券売却原価	6	345	473
うち 営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額 合計	-	17	163
うち 組合持分損失等	174	214	774
うち その他営業原価	4	6	15

営業総利益	107	357	690
-------	-----	-----	-----

(管理運営報酬等)

営業収益のうち管理運営報酬等には、投資事業組合等の管理報酬と事務受託報酬が含まれます。管理運営報酬等の総額は、前年同期から増加して50百万円(前年同期比 14.1%増)となりました。前期中に組成・増額したファンドからの管理報酬が増加しました。

(投資損益)

当第1四半期連結累計期間の営業投資有価証券の売却は、国内で前期から売却活動を続けていた未上場株式の売却が実現し、また、上場株式の売却も進捗しました。その結果、売却高は前年同期から増加して633百万円(同 10,255.2%増)となり、売却高から売却原価を差し引いた実現キャピタルゲインも287百万円の利益(前年同期 0百万円の損失)となりました。

営業投資有価証券評価損及び投資損失引当金繰入額は、前年同期は発生しませんでした。当第1四半期連結累計期間では業況の悪化した企業への計上額が17百万円発生しました。

以上の結果、実現キャピタルゲインから営業投資有価証券評価損及び投資損失引当金繰入額の合計を控除した投資損益も、270百万円の利益(前年同期 0百万円の損失)となりました。

(組合持分利益・インカムゲイン等)

営業収益のうち組合持分利益・インカムゲイン等には、当社グループが運営するプロジェクトの収入（売電収益や、野菜の販売額、障がい者グループホームの賃貸収入等）、他社が運営するプロジェクトの持分利益（プロジェクトの運営による純利益や、プロジェクトの売却益）、他社が運営するプライベートエクイティファンドの持分利益、利息・配当収入、及び、その他の収益が含まれています。

当第1四半期連結累計期間の組合持分利益・インカムゲイン等の合計額は、前年同期から増加して239百万円（前年同期比 5.6%増）となりました。主に、前期中に営業を開始した障がい者グループホームプロジェクトからの収入が増加しました。

(組合持分損失等)

営業原価のうち組合持分損失等には、当社グループが運営するプロジェクトの原価（売電原価や、野菜の製造原価、障がい者グループホームや物流施設の賃貸原価等）、他社が運営するプロジェクトの持分損失（主に立上げ初期のプロジェクトからの純損失）、及び他社が運営するプライベートエクイティファンドの持分損失等が含まれています。

当第1四半期連結累計期間の組合持分損失等の合計額は、前年同期から増加して214百万円（同 23.3%増）となりました。主に、前期中に営業を開始した障がい者グループホームプロジェクトや前期末に取得したディストリビューションセンター（物流施設）プロジェクトの原価が増加しました。

以上の結果、営業収益は940百万円（同 222.8%増）、営業原価は583百万円（同 216.5%増）、営業総利益は357百万円（同 233.6%増）となりました。

(b) 販売費及び一般管理費、営業損益

販売費及び一般管理費は前年同期から増加して426百万円（同 60.2%増）となりました。主な増加要因は、前期末に取得した子会社やプロジェクトの費用が加わったことです。その結果、営業損失は69百万円（前年同期 営業損失159百万円）となりました。

(c) その他の損益項目

上記(a)(b)以外の損益項目のうち、当第1四半期連結累計期間において特筆すべき項目は、非支配株主に帰属する四半期純損益です。非支配株主に帰属する四半期純損益は、当社グループが運営する子会社、ファンド、プロジェクトの損益のうち、当社グループ以外の株主や出資者に帰属する額です。当第1四半期連結累計期間はこれらの子会社、ファンド、プロジェクトで損失が発生したため、非支配株主に帰属する四半期純損失は96百万円（前年同期 非支配株主に帰属する四半期純利益3百万円）となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は14百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失 143百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末から増加して21,615百万円（前連結会計年度末 21,024百万円）となりました。主な増加要因は、営業投資有価証券が投資の実行に伴い前連結会計年度末から増加して5,214百万円（同 4,519百万円）となったことです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末並みの11,372百万円（前連結会計年度末 11,394百万円）となりました。負債のうち主なものは借入金と社債であり、その残高は合計で10,304百万円（同 10,217百万円）となりました。このうち、当社単体の金融機関からの借入額は2,285百万円（同 2,644百万円）です。

また、当社グループが運営するプロジェクトにおけるプロジェクトファイナンスと社債の残高は、7,964百万円（同 7,507百万円）です。なお、これらはプロジェクトの資産や収益のみを返済原資としているため、当社グループの財務健全性に与える影響は限定的です。そのため、当社は、今後も当社グループの運営するプロジェクトにおいてプロジェクトファイナンス・社債による資金調達を組み合わせるレバレッジを効かせた投資を行い、高い財務健全性を維持しながら収益性を高めていく方針です。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結会計期間末 (2025年6月30日現在)	当第1四半期連結会計期間末 (2026年6月30日現在)	前連結会計年度末 (2026年3月31日現在)
借入金・社債残高合計	7,214	10,304	10,217
うち 当社単体借入額	3,172	2,285	2,644
うち 子会社（ファンド以外）借入額	—	54	66
うち プロジェクト投資におけるプロジェクトファイナンス・社債	4,041	7,964	7,507

(純資産)

純資産のうち自己資本は、前連結会計年度末から増加して7,980百万円（同 7,541百万円）となりました。主な増加要因は、新株予約権の行使に伴い資本金と資本剰余金が増加したことです。その結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末から1.0ポイント上昇して36.9%（同 35.9%）となりました。

その結果、純資産全体も、前連結会計年度末から増加して10,243百万円（同 9,630百万円）となりました。

(3) 営業活動の状況

(a) 営業投資有価証券のうち上場株式の含み損益（注）

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結会計期間末 (2025年6月30日現在)	当第1四半期 連結会計期間末 (2026年6月30日現在)	前連結会計年度末 (2026年3月31日現在)
含み損益	192	40	△3

（注）当社グループ及び当社グループが運営するファンドが営業投資有価証券として保有している株式のうち、証券取引所に上場している銘柄の、取得原価と四半期連結貸借対照表計上額又は連結貸借対照表計上額との差額のうち当社グループに帰属する金額を示しています。

(b) ファンドの状況

当第1四半期連結会計期間末における当社グループが管理、運用又は投資情報の提供を行っているファンドの運用残高は、14ファンド、18,690百万円（前連結会計年度末13ファンド、17,629百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間中に、新設の1ファンドの出資を履行した他、運営中の2ファンドを増額しました。

①運用残高

	前第1四半期 連結会計期間末 (2025年6月30日現在)			当第1四半期 連結会計期間末 (2026年6月30日現在)			前連結会計年度末 (2026年3月31日現在)		
	ファンド数	ファンド 総額 (百万円)	ファンドの 純資産額 (百万円)	ファンド数	ファンド 総額 (百万円)	ファンドの 純資産額 (百万円)	ファンド数	ファンド総額 (百万円)	ファンドの 純資産額 (百万円)
運用期間中	10	14,402	7,748	14	18,690	10,110	13	17,629	8,457
満期延長中	-	-	-	-	-	-	-	-	-
清算期間中	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計 (うち当社 グループ出 資額)	10	14,402 (1,717)	7,748	14	18,690 (2,805)	10,110	13	17,629 (2,308)	8,457

②当第1四半期連結累計期間中の新設・増額ファンド

ファンド名	設立時期	ファンド満期	当第1四半期 連結累計期間 ファンド総額 増加額 (百万円)	当第1四半期 連結会計期間 末ファンド総 額 (百万円)	特徴
おみやげファンド1号 投資事業有限責任組 合	2026年3月 (2026年4月 出資履行)	2031年3月	802	802	お土産品業界のロールアップに特化 したファンド
投資事業有限責任組 合JAICスペシャルテ ィファンド	2025年1月	2027年12月	214	826	日本国内のお土産品業界、小売業 界、観光業界において、事業成長と 地方創生の好循環に取り組む上場企 業等を投資対象とするファンド
JAICスケールアップ ファンド投資事業有 限責任組合	2025年6月 (2026年3月 初回出資履行)	2031年2月	45	346	事業規模拡大（スケールアップ）を 目指す国内上場企業を投資対象とす るファンド

(注) 1. ファンド総額につきましては、コミットメントベース（契約で定められた出資約束金額ベース）の金額を記載しております。

2. 財務諸表との関連性を高めるため、新設されたファンドのうち出資履行が未了のものは含めておりません。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。

なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により、記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

詳細につきましては12ページ「3. 従来連結基準による四半期連結財務諸表等、(1) 従来連結基準によるサマリー情報、2. 2027年3月期の従来連結基準業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)」をご覧ください。また、「従来連結基準による見込値」の前提となる条件等については、2026年5月15日付の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の22ページ「5. 従来連結基準による連結財務諸表等、(4) 従来連結基準による今後の見通し」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,122	3,844
営業投資有価証券	4,519	5,214
投資損失引当金	△817	△794
未成業務支出金	217	244
その他	369	241
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,410	8,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,556	6,801
減価償却累計額	△178	△256
建物及び構築物（純額）	6,377	6,545
機械及び装置	3,376	3,376
減価償却累計額	△1,104	△1,154
機械及び装置（純額）	2,271	2,222
車両運搬具及び工具器具備品	144	69
減価償却累計額	△82	△38
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	62	31
土地	2,225	2,300
建設仮勘定	121	163
有形固定資産合計	11,059	11,263
無形固定資産		
発電設備開発権利金	591	580
のれん	583	568
その他	45	34
無形固定資産合計	1,219	1,183
投資その他の資産		
投資有価証券	150	240
破産更生債権等	151	151
その他	185	178
貸倒引当金	△151	△151
投資その他の資産合計	336	418
固定資産合計	12,614	12,865
資産合計	21,024	21,615

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	688	4,481
1年内償還予定の社債	9	109
未払費用	100	81
未払法人税等	113	31
賞与引当金	42	15
その他	90	74
流動負債合計	1,043	4,792
固定負債		
社債	244	144
長期借入金	9,275	5,568
繰延税金負債	437	472
退職給付に係る負債	124	127
資産除去債務	242	242
その他	25	22
固定負債合計	10,351	6,579
負債合計	11,394	11,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	489	635
資本剰余金	6,804	7,099
利益剰余金	219	206
自己株式	△152	△152
株主資本合計	7,360	7,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98	109
為替換算調整勘定	81	82
その他の包括利益累計額合計	180	191
新株予約権	1	0
非支配株主持分	2,087	2,262
純資産合計	9,630	10,243
負債純資産合計	21,024	21,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業収益	291	940
営業原価	184	583
営業総利益	107	357
販売費及び一般管理費	266	426
営業損失(△)	△159	△69
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	0	0
為替差益	—	0
設備賃貸料	1	—
違約金収入	—	0
雑収入	0	1
営業外収益合計	2	3
営業外費用		
支払利息	40	65
為替差損	0	—
新株発行費	—	2
雑損失	—	0
営業外費用合計	40	68
経常損失(△)	△197	△133
特別利益		
固定資産売却益	23	22
為替換算調整勘定取崩益	33	—
その他	1	2
特別利益合計	57	24
特別損失		
固定資産除売却損	—	1
投資有価証券清算損	—	0
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純損失(△)	△139	△110
法人税、住民税及び事業税	0	2
法人税等調整額	—	△2
法人税等合計	0	△0
四半期純損失(△)	△139	△110
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△96
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△143	△14

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純損失(△)	△139	△110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	△20
為替換算調整勘定	△36	0
持分法適用会社に対する持分相当額	189	△8
その他の包括利益合計	190	△28
四半期包括利益	50	△138
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43	△3
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△135

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2026年4月1日 至2026年6月30日)

当社グループは、投資事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く、無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	11百万円	11百万円
のれんの償却額	0	14

3. 従来連結基準による四半期連結財務諸表等

(1) 従来連結基準によるサマリー情報

2027年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月14日

当社グループでは、2027年3月期より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 2006年9月8日 実務対応報告第20号)を適用し、当社グループで運営している投資事業組合等の一部を連結の範囲に加えて連結財務諸表等を作成しております。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまに、当社グループの経営成績及び財務状況を正しくご認識いただくためには、従来からの会計基準による財務諸表等の開示も必要と考えております。

以上のことから、今後も参考情報として、従来の会計基準による連結財務諸表等を継続的に開示して参ります。

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の従来連結基準業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同期増減率)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
2027年3月期第1四半期	775 (713.3)	54 (—)	41 (—)	64 (—)
2026年3月期第1四半期	95 (△81.1)	△151 (—)	△164 (—)	△131 (—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	2 38	2 33
2026年3月期第1四半期	△5 92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	10,760	8,034	74.2	286 33
2026年3月期	10,704	7,489	69.7	287 89

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 7,982百万円 2026年3月期 7,463百万円

2. 2027年3月期の従来連結基準業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。

(参考情報) 従来連結基準による見込値

(%表示は、通期は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	3,000	127.2	350	—	250	—	300	—	10.76

(注) 直近に公表されている「従来連結基準による見込値」からの修正の有無： 無

2027年3月期の従来連結基準による見込値における「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2026年6月30日現在の発行済み株式数（自己株式を除く）を使用しております。

なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により、記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

また、「従来連結基準による見込値」の前提となる条件及びご利用にあたっての注意事項等については、2026年5月15日付の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の22ページ「5. 従来連結基準による連結財務諸表等、（4）従来連結基準による今後の見通し」をご覧ください。

(2) 従来連結基準による経営成績等の概況

営業収益・営業原価内訳

(単位: 百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	前連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業収益合計	95	775	1,320
うち 管理運営報酬等	46	72	274
うち 営業投資有価証券売却高	3	633	901
うち 組合持分利益・インカム ゲイン等	23	36	68
うち その他営業収益	22	33	76
営業原価合計	21	378	673
うち 営業投資有価証券売却原 価	3	345	466
うち 営業投資有価証券評価 損・投資損失引当金繰入額 合計	—	13	158
うち 組合持分損失等	13	14	33
うち その他営業原価	4	6	15
営業総利益	74	397	646

(3) 従来連結基準による四半期連結財務諸表

①四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,738	2,416
営業投資有価証券	6,694	7,211
投資損失引当金	△ 779	△ 752
営業貸付金	897	768
その他	219	109
貸倒引当金	△ 18	△ 16
流動資産合計	9,752	9,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41	42
減価償却累計額	△ 13	△ 14
建物及び構築物 (純額)	27	27
車両運搬具及び工具器具備品	31	39
減価償却累計額	△ 27	△ 27
車両運搬具及び工具器具備品(純額)	3	12
土地	126	126
有形固定資産合計	157	166
無形固定資産		
のれん	583	568
その他	27	16
無形固定資産合計	610	585
投資その他の資産		
投資有価証券	150	239
破産更生債権等	48	48
その他	33	32
貸倒引当金	△ 48	△ 48
投資その他の資産合計	183	272
固定資産合計	951	1,024
資産合計	10,704	10,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	390	930
未払費用	57	41
未払法人税等	112	29
賞与引当金	42	15
その他	135	104
流動負債合計	737	1,121
固定負債		
長期借入金	2,319	1,409
繰延税金負債	7	44
退職給付に係る負債	124	127
その他	25	22
固定負債合計	2,477	1,603
負債合計	3,214	2,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	489	635
資本剰余金	6,679	6,973
利益剰余金	267	333
自己株式	△ 152	△ 152
株主資本合計	7,283	7,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98	109
為替換算調整勘定	81	82
その他の包括利益累計額合計	180	191
新株予約権	1	0
非支配株主持分	24	51
純資産合計	7,489	8,034
負債純資産合計	10,704	10,760

②四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業収益	95	775
営業原価	21	378
営業総利益	74	397
販売費及び一般管理費	225	342
営業利益又は営業損失(△)	△ 151	54
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	0	0
為替差益	—	0
設備賃貸料	1	—
違約金収入	—	0
雑収入	0	0
営業外収益合計	2	3
営業外費用		
支払利息	15	13
為替差損	0	—
新株発行費	—	2
雑損失	—	0
営業外費用合計	16	16
経常利益又は経常損失(△)	△ 164	41
特別利益		
関係会社株式売却益	—	2
為替換算調整勘定取崩益	33	—
その他	0	—
特別利益合計	33	2
特別損失		
固定資産除売却損	—	1
投資有価証券清算損	—	0
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△ 130	42
法人税、住民税及び事業税	0	1
法人税等合計	0	1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 131	40
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△ 24
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 131	64